

breakdown

タックル後のボール争奪を breakdown と注釈付きで呼ばれています。ラグビー用語の採り入れにあたってはその言葉の identity を理解されることが関連プレーを生かしラグビーを楽しむのに大切なことです。

break という言葉はラグビー界でもよく使われます。「壊す」という意味の break は約束なら「破る」と訳し、日常一般的な事では「中断」を意味し、土（地面）ならば砕いて「耕す」と訳します。ボクシングで両者が組み合う状態になればレフリーは“Break”と「離れる」よう指示します。ラグビーでは ruck や maul を「解体」することを意味しプレーヤーがそれらから「離れる」ことを意味します。

1974年に発表された Danie Craven の“Rugby Handbook”を参考に考察を進めましょう。

図1はラグビーを建造物として表しています。Tight play, Loose play, General play, Broken play, Breakdown play, Special play の7本の柱に大きな横木（Stamina, Power, Speed, Skilful, Physical exercises）が支えられています。それらはラグビーの基礎的プレーです。

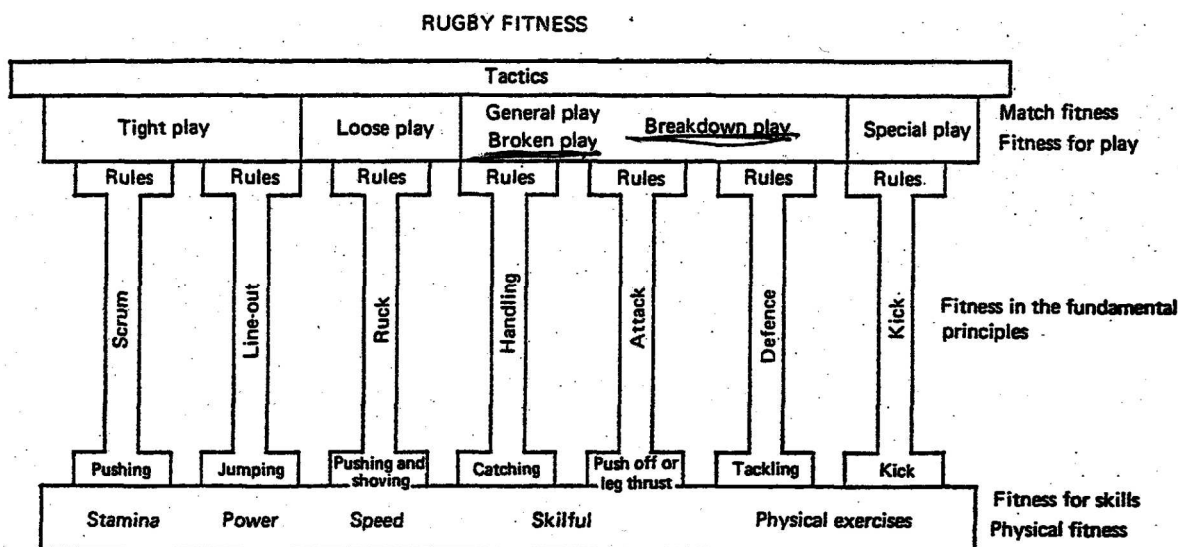


図1

図2はそれらのゲーム中における進行過程を表しています。ラグビー界のプロ化は broken-time（間合いの少ない時間）の保証が根本問題でした。broken play は本流プレーの合い間のプレーです。第一段階のプレーでトライに結びつけば lucky なことです。Breakdown は崩壊、破損、挫折と言った意味で第一段階の攻撃プレーが相手によって中断されたら第二段階の breakdown play に移行します。breakdown van 救難車のようにタックル後の curious situation（微妙で難しい状態）を救うプレーです。curious situation を解きほぐす positive な南半球風な用語です。

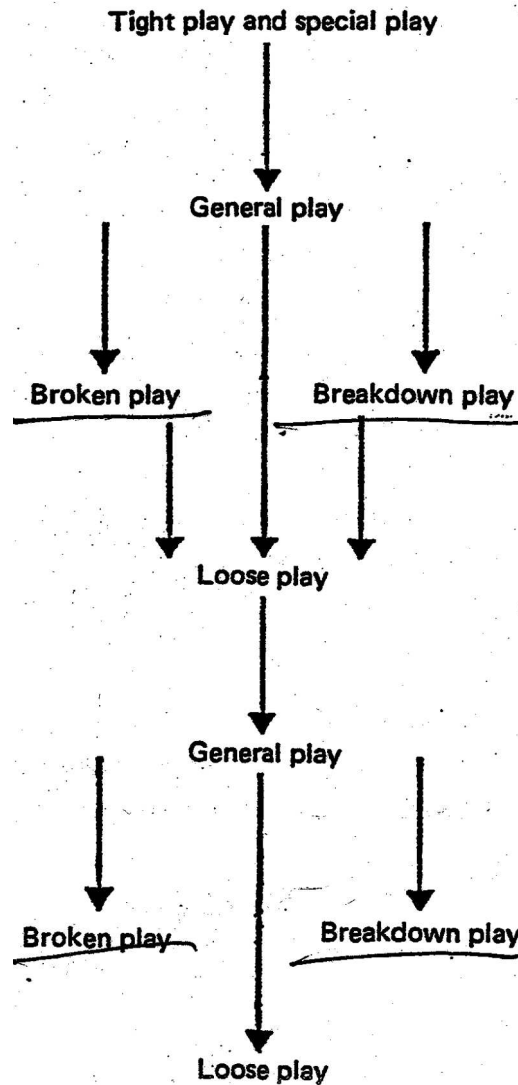


図2

“Rugby is a strenuous physical contact game.” 攻防の接点 tackle 後に生じる curious situation を flair を働かせて good bright interesting game に創造する意識が必須要件です。breakdown play もそのプレーと Laws の精神を生かすことがラグビーを楽しむのに大切な事柄です。